

本時の流れ（第6時）

○ モンシロチョウを観察し、その体のつくりを知る。

課題の把握

本時の詳細はこちら

CLICK

【課題】

『モンシロチョウの体のつくりをしらべよう』

今まで観察してきたモンシロチョウ(成虫)の絵をかいてみよう。

【課題の把握】

☆ これまで観察してきたモンシロチョウがやっと成虫となり、その感動を持たせつつ、今度は体のつくりに注目させる。最初にチョウの体のつくりについて「素朴概念」を出させることからスタートする。「チョウの羽は何枚あるか」「足は何本でどこについているか」等を、まずは自分の頭の中で組み立ててみる。

(指示) モンシロチョウの絵をかきましょう。

素朴概念の抽出



ワークシートはこちら

CLICK

【素朴概念の抽出】

☆ 実物を見ずに自分の頭の中で組み立てたモンシロチョウの絵をかかせ、チョウの体のつくりについて、どんなことを知っていて、どんなところが曖昧かを実感させ、観察する視点を自ら考えさせる。

(発問) どこを観察すればいいでしょう

話し合い

【素朴概念に基づく討論】

☆ 自分のかいた絵について説明し、その中で出てきたお互いの絵の相違点を見つける。
☆ グループの話し合いで、意見が異なる部分や曖昧な部分を観察の視点としてまとめさせる。

結果の確かめ

(指示) 観察をして確かめましょう。

【観察】

☆ 自分のかいた絵の曖昧な点や話し合いで指摘された相違点を中心に、実物を観察しながら比べ確かめる。
☆ 気付いたことやわかったことを、言葉でも書き入れる。

学習のまとめ

(指示) 観察結果をまとめましょう。

【学習のまとめ】

- ☆ 観察の結果とそこから分かること、気付いたこと等を分けて書かせることが重要である。感想も含め、くわしく書き記す。
- ☆ 正確な図を示し、チョウの体のつくりについて図と言葉で確かめさせる。「頭、胸、腹の3つの部分に分かれる」「胸に6本の足がある」「羽は4枚」等
- ☆ 学習記録を正確に残すことで、ここで学んだ知識を次時以降の学習の中で、考えを深める「よりどころ」として活用できるようにする。「モンシロチョウの体のつくりは○○だったので・・・。」「モンシロチョウと比べて・・・。」